

出雲市長メッセージ

元気な出雲
活力ある出雲
笑顔の絶えない出雲

出雲市長
飯塚 俊之

出雲市は、全国的な人口減少の流れの中、人口17万人台を維持しており、山陰地方の発展をけん引する存在となっています。その一方で、市内では人口が増加している地域と減少している地域の二極化が進んでおり、どこに住んでいても安心して暮らせるよう地域の課題に応じた支援を進めています。

現在、出雲市では、新型コロナウイルス感染症への対応、自然災害への対応など、今までに経験したことのない業務が多発する中、職員はこの難局を乗り越えるため一丸となって業務に取り組み、一日でも早く普通の市民生活を取り戻せるように奮闘しています。

市政を前に進めるためには、職員一人ひとりが知恵を絞り、自ら行動していくことが必要であり、そして何より職員が市民から信頼されることが重要です。

「Move forward！ Build trust！～市民の信頼を得るためには、まず笑顔から～」という職員スローガンを掲げ、元気な出雲・活力ある出雲・笑顔の絶えない出雲をめざしていきます。

出雲市の輝く未来を一緒に作り、盛り上げていきましょう。

求める人物像

3 2 1

3 環境の変化に対応できる
堅実に業務が遂行できる意欲のある人

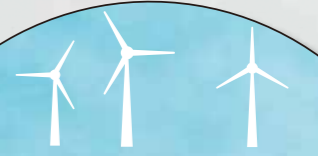
2 柔軟性とコミュニケーション能力を備え、
相手を思いやる温かい人

1 使命感を持ち責任感の強い人



出雲市概要と 主要な政策

人口 174,593 人 (令和4年1月末)
沿革 H17.3.22 合併 出雲市、平田市、佐田町、多伎町、湖陵町、大社町
H23.10.1 編入 斐川町
総面積 624.4 km²



ゼロカーボンシティへの挑戦

2050年二酸化炭素排出実質ゼロをめざし、「ゼロカーボンシティ」に挑戦することを2021年5月に宣言しました。エネルギーの地産地消や再生可能エネルギーのベストミックスを進め、「脱炭素のまち出雲」を実現していきます。

デジタルファースト

2020年6月、デジタルファースト宣言をしました。誰もがデジタル技術を簡単に利用できる、「人にやさしいデジタル化」に努めています。

持続可能な地域づくり

- 雇用の場を確保し、UIターン者の出雲市への移住促進と若者の定住支援に努めています。
- 結婚から子育てまでを切れ目なく支え子育てと仕事の両立支援の充実を図っています。
- 中山間地域の支援についてサポート体制を拡充し、地域のニーズに沿った施策を実施しています。

1. 雇用創出 2,500人プロジェクト

平成24年度からの10年間で2,500人の雇用創出を目標に、出雲の特性を生かした魅力ある雇用の場の創出をめざしています。直近5年間の実績値は1,622人でそのうち令和2年度は345人の雇用が生まれています。

2. 定住人口キープ 170,000人プロジェクト

定住人口17万人をキープするため、ひとの流れをつくり、子育てしていく希望をかなえる環境づくりに努めています。直近5年で3,060人の社会増を実現し、出生数も7,486人と高い水準を維持しています。

3. 交流人口 1,200万人プロジェクト

新型コロナウイルス感染症が拡大する前の、令和元年における観光入り込み客数は1,200万人を超え、県内最多です。出雲大社周辺を中心に年間約630万人が訪れ、島根県の観光をけん引しています。

4. 住みやすさ No.1 プロジェクト

市民満足度調査「住みやすいと感じる人の割合」について、令和元年度の調査結果は、86%でした。住みやすさNo.1のまちづくりを実践するとともに、住民による主体的な地域づくりを進めています。